

質問①:学校は、学校教育目標達成(目指す児童像・学校像)に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。(10)

- 変化の激しい時代に対応するために全力を尽くしている。
- 学習・生徒指導についての報告、連絡、相談を徹底して行うことができていると感じているから。
- 比較的職員が相談しながら教育活動を進めていることや児童の様子から、ほぼあてはまるように思う。
- コロナ禍の中でも、授業や研修などを通して教職員全員で話し合い、児童のためになることを常に考え、実践している。
- 主体的なのが理想だが、そうでない児童に対しても個別の対応や配慮をすることによって、向上心が芽生え意欲的になっているように思えるから。
- 日常の中で意識しているかと言われればできていないこともあるから。また目標とするものが多く感じるから。
- 理解しやすく、一員としてできることからとりくめております。ただ、もっと頑張れるかなとも思っております。
- 本校は何かあったら即時に情報が共有され、管理職から詳しい説明をいただいている。コロナ禍であるからこそその結束力がある。ピンチをチャンスにすべく、今後、様々な視点で具体的な取り組みを実施できればと思う。
- 組織的に取り組んでいます。風通しのよい職場と言い難いケースも稀にあるのでそこが組織的に取り組む上で課題だと思えます。
- 一例を挙げるなら、縦割り班での活動。高学年が低学年のことをよく考え、班の仲間と話し合っどんな遊びをするかなどの取り組み、実践は良かった。低学年は高学年と遊べると楽しみにしている声も聞こえたとし、実際に遊びが盛り上がり成功していたのも良かった。全学年で楽しめたと感じた。改善策というより、コロナの影響でこういった活動の機会が少なかったことが残念に思われる。

質問②:学校は、コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会と連携した学校運営を進めている。(10)

- 学校運営協議会や熟議を行い少しでも地域とつながる努力をしている。
- 地域の方や学校運営協議会の人たちと話し合いを持つのは良いことだと思うが、こちらの考えもしっかりと持ち、ぶれないことも大切だと思う。
- 入れ替わりの多い学校だが、委員が代わってもきちんと連携がとれていると思う。
- 連携はしたいが活動に対しての十分な時間が取れていないから。他の職務との兼ね合いがうまくはかれていないように思うから。
- 週報やその他、活動に参加する機会もあって、当事者意識が生まれました。
- 先日、学校運営協議会が本校の体育館を拠点に本校の校長のリーダーシップの下、開催された。本校の学校運営協議会の委員と管理職だけでなく、市内の各学校から数名ずつ集まり、グループに分かれて実りのある話し合いを行うことができたのは価値ある一歩だと思う。それぞれが素直に、普段抱えている様々な思いを発し、表に見える化することにより、お互いの親近感が高まった。日常的な理解を高めるためにも、今後も続けるべき取り組みだと実感した。
- 拡大学校運営協議会など地域の方々との関わる機会を設けて頂いてるのでほぼ当てはまると思います。

- さくら連絡網の活用は画期的。子供が手紙を出さないことがあるので、親に直接届くのが良い。かわら版などの発行で学校の取り組みの紹介や、野球チームの保護者の方々が草取りや清掃をしてくださったニュースなどを周知することもとても良いと感じる。改善策は、コロナの影響で保護者の方々に気軽に学校参観をしていただけないのが残念だが、コロナが落ち着いたら、たくさんの保護者の方に観に来ていただく機会が増えると良いと感じる。
- 運営協議会が頻繁に行われていて、地域や保護者がよく出入りしているから。

質問③:学校は、校務分掌において機能的に役割を分担するとともに、打ち合わせや会議等が円滑に行われるような体制づくりに努めている。(11)

- なかなか決まらなかったり負担軽減を重視しすぎて逆に特定の人に負担が増えたりしていることがある。
- 連絡は slack を用いて行い、会議では話し合うべき事項だけ取り上げるようにしているから。
- 学校全体で動くものや、今までとやり方を変えるものについては、職員みんなで確認してから始めたほうが良い。
- 年度初めに、部会を定期的に計画しておいたほうが良いです。
- 人数がギリギリで、それぞれの人の負担が大きいように感じる。
- 普段の職員会議や職員集会に出られない者として、Slack などを利用した伝達はリアルタイムで本当に助かっている。
- 職員集会、会議などでその様子が実感できた。
- 年度末部会の時間確保
- 校務分掌によっては、主任に負担が大きいところもあると思います。
- 会議には出ていませんが、先生方の連携が取れていると感じることが多々ある。
- 若い先生が気軽になんでも相談できる雰囲気作りが大切と思うが、広沢小は管理職のはじめ、先生方の雰囲気がとても良いと感じる。
- 打ち合わせや会議等が円滑に行うことができるような技術(TEAMS や FORMS 等)を研修する機会が必要

質問④:学校は、働き方改革を進め、職場の風通しをよくしたり、業務改善に努めたりしている。(12)

- 業務や負担軽減を重視しすぎて特定の人に皺寄せがいたり職場の雰囲気が悪くなったりする。早く帰らせることが先行しているが実質的業務量は変わっていない。早く帰らせることが最優先なら質や量は最低限にして、その分のリカバリーも必要。
- 教員間の関係がとてもよく、どんなことでも相談しやすい雰囲気ができている。
- 今まで以上にいつでも安心して話せる職員関係が作れるようにしたい。
- 休憩時間に会議を入れないほうが良い。
- なんでも言いやすい雰囲気で、これからもそうあってほしい。
- 管理職が話しやすいので、風通しは良いと思う。手間なことで先生でなくてもよいことを短時間労働者に割り振ってくださるのほうれしく思う。
- 風通しはとても良いと思います。働き方改革は、運動会や音楽会後の会議や打ち合わせを始めとして、学校への拘束時間が増えているように思うから。
- 懸命に取り組んでいると感じます。
- 働きやすい環境だと思うが、まだまだ業務改善の余地がある。

- 17時に帰れますし、指導案などもいらないところは減らしたり、所見の文字数や道徳所見、外国語活動所見、総合的な学習の時間の所見を3学期のみにしたりしているのありがたいです。
- 業務改善の具体的な例は分かりませんが、職員室の風通しはとても良いと感じる。
- 個人的には進められたように思う。新しい働き方・学び方にシフトできるようなきっかけ(行事や研修等)づくりを増やしていきたい。

質問⑤:学校は、教職員一人一人に教育公務員としての自覚と誇りを持たせ、互いに連携・協力しながら事故防止に努められる環境づくりをしている。(7)

- 教職員としての自覚をもって職務に励んでいるから。
- 報告・連絡・相談が徹底されていると感じるから。
- お互いに声を掛け合っていていい。
- 職員集会、週報や学校便りでも、よくわかります。
- 教職員事故防止の研修が足りないと思う。コロナ禍の対応で大変だと思うが、職員会議等に入れ込む等して、教職員が我が事のように実感できる研修を定期的に行うべきではないだろうか。
- いけないことはしない雰囲気があります。
- 管理職の先生の計らいが大きいと感じる。引き続き、若手の先生の手本となるような声かけ、ご指導お願いします。

質問⑥:学校は、安全に配慮し、危機管理体制を整えている。(6)

- 管理職や衛生推進委員会や体育部が定期的に設備の改善をおこなっているから。
- 設備の修理などにとりかかるのが早くてとても良いと思う。
- 児童が登校する時間に給食のトラックの出入りが多く危ないと思うから。
- コロナをはじめ、日々緊張感を感じております。
- 安全点検などしっかりしています。老朽化が進んでいるところは不安があります。
- 職員室が昇降口のすぐ脇にあることは校舎の構造としてよい位置にあると感じる。
- 改善策としてはこちらもまたコロナの影響によるが、避難訓練が例年通りに実施されなかった事が難点。不審者対応や火災の避難訓練などはタイミングをみて実施して欲しいと感じる。

質問⑦:学校は、地震や火災などを想定した訓練を計画的に実施し、効果的な防災教育を行っている。(9)

- 感染拡大の中でできることを行っているから。
- 定期的に訓練を行うことができているが、本年度はコロナウイルス感染症の関係で訓練が不十分と感じる。
- コロナ禍ではあるが、学年ごと、またはクラス単位でも本格的な訓練は必要だと思う。
- ショート避難訓練を定期的に行うことで、コロナ禍でも対応できていると思うから。
- 予告なしの避難訓練がもう少し多くてもいいかなと思う。
- コロナ中になり安全教育が実施できていないから。集会活動ができないが、2月の訓練のように、毎学期実施すると良いのではないかと思います。
- ローカでも子供らの掲示が行われ、日頃から危機意識を培っております。
- 不審者が来た時の実践的な訓練をしていないので不安です。

- 13 項で書いたように、コロナが落ち着いた頃を見計らって訓練の実施をして欲しいと感じる。

質問⑧:学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学校運営や教育活動に生かしている。(9)

- この時代や状況の中で保護者や地域と関わるのが少ないから。
- 本学年も、保護者と協力して校外学習を実施することができたから。
- 地域性がない環境だが、比較的保護者と連絡が取れる状況にある。
- コロナ禍で実施が厳しいから。
- 2学期の熟考はとても良かったと思う。
- これまでは管理職を中心に連携を図っていただいたように思います。次年度はこの分野を専門的に研修してはどうかと思いました。
- 週報や学校便り、など様子を知っております。
- 保護者の方を考えた話し合いができています。
- 低学年から生活科見学などで、地域の農家や公共施設などを知る機会があるのは良いと思う。

質問⑨:学校は、「社会に開かれた教育課程」を志向し、家庭や地域と学校教育の目標や内容を共有している。(6)

- 定期的にスラックや会議で共有しているから。
- 家庭地域と教育の目標や内容について共有する機会は少ないと感じるから。
- 学校は保護者や地域の方への発信が多く、それに対して保護者や地域の方々も呼応していて、同じ目標に向かっているように思う。
- これまでは管理職を中心に行ってきたように思います。次年度はこの分野内専門的に研修してはどうかと思います。
- そう実感しております。日々の来客も含めて。
- 学校便りやかかわら版などで、学校の取り組みを良く紹介していると感じる。

質問⑩:児童は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。(8)

- 限られた時間の中で最善を尽くしているから。
- そう思いたい。
- 一人ひとりの学力を的確に把握し、対応されているように思う。
- タブレットを活用した授業の教材研究がより必要だと感じています。
- 先生方の研修の指導案など、私もただけて、私も学んでおります。また、わからないことは教えていただきました。先生方もほんとうに頑張ってます。
- 基本的な学習はできていますが、家庭との連携が欠かせません。
- 先生方は、熱心にご指導されていると感じる。が個人的な能力の差はいたし方ないかを感じる部分もある。
- 全体的によく頑張っている児童の割合が多いように思います。

質問⑪:学校は、学力向上(主体的・対話的で深い学びの実現等)を目指し、児童の実態に基づいて授業改善に努めている。(7)

- 児童の実態を考えながら授業改善に励んでいるから。
- コロナ禍でも、ICTなどを積極的に活用して授業改善を行っているから。

- 遅れている児童に対して休み時間に個別に教授することで学力向上を目指し、それぞれのクラスの習熟度を確認するなどされているから。
- タブレットを用いた授業の教材研究が必要だと思えます。
- 私は教材のプリントなどすることもあります。しながら読むこともあります。その通りだと思えます。
- 児童にあった指導について話されています。
- 研究授業などを通して、先生方の教育指導がより工夫されて、わかりやすく、楽しく授業を進めていると感じる。

質問⑫:学校は、外国語等の学習や ICT の活用など、これからの時代に必要な学力の育成に力を入れている。(11)

- いきなりの導入だったが、できる範囲で ICT の活用に努めたから。
- 試行錯誤している。
- ICT の活用に関しては、改善の余地があると感じているから。
- 学校として力を入れていないと思うから。若い先生やパソコンが得意な先生は積極的に取り組んでいると思う。
- 学校は力を入れて効率的に取り組まれていると思う。分散登校時のオンライン授業などで保護者と児童の ICT 技能が乖離している場合があるように感じたので、今後オンライン中心になるようなことがあれば苦手な保護者に対するの対策を考えておくと良いと思う。
- タブレットを使った授業の教材研究がより必要だと思えます。
- ICT 授業など、英語で話しかけてくる子供もいて。楽しいです。
- タブレットの活用
- PowerPoint などを授業で作らせています。大人になる上で必要な力の 1 つだと思えます。
- タブレットによる配信授業など、子供の対応力の早さに驚く時がある。もはや、私より子供達なら聞いた方が端末のトラブルを処理できる事が多々ある。
- 新しい学び方にシフトできるようなきっかけ(行事や研修等)を増やしていきたい。

質問⑬:学校は、児童の実態や日々の実践、学力調査等を基に、カリキュラムマネジメントを確立し、よりよい教育課程の編成に努めている。(5)

- カリキュラムマネジメントはそこまで学校で重視されていないから。
- 学力状況調査の結果をもとにした授業改善は行われていないと思うから。何をどのように改善すればよいかわからない。
- コロナは残念です。校外見学というか、遠足というか、子供らは心はずませている様子には驚きました。朝の検温の時。
- 先生方は熱心にご指導されていると感じる。
- わかりやすいもの(シンプル)が一番だと思えます。

質問⑭:学校は、児童が学習ルールを理解するなど、学習規律の確立を図っている。(6)

- 基本的なルールは徹底できるように呼びかけや声かけは生徒指導部を中心に行っているから。
- クラスによって、担任によって、差があります。

- そう思います。先生も、質問にくる児童に丁寧に指導なさっておられます。例えば、算数など。
- 荒れている子供が少なく指導が入りやすいです。
- どのクラスの子供達も集団行動に問題なく適応できていると感じる事が多々ある。
- 学習規律の確立は手段であって、それが目的にならないよう注意していきたい。

質問⑮：学校は、児童一人一人に寄り添い、いじめや暴力等を見逃すことなく、共通理解のもとに指導している。(7)

- 生徒指導部会であまりあがってこないということはおそらくほぼないということだから。
- 個人で解決せず学校全体で解決に向かうことができているから。
- 担任だけでなく、学年などでも対応しているから。
- 休み時間などの児童のふとした言動でも、過激な言葉や避けるべき行動については厳しく指導されているから。
- パワハラなどと騒がれがちですが、先生方の姿勢に好感を感じております。ほんとうに真剣です。
- トラブルが起きないように未然防止に努めています。起きてしまった際には、親身になって解決しています。
- 学校側からメッセージを良く発信していると感じる。子供に何かあったらいつでも相談にいける雰囲気があると感じる。

質問⑯：学校は、児童の実態把握に基づき、規律ある指導の工夫・改善に努めている。(4)

- 児童ありきの指導を行なっているから。
- 集会活動や高学年の活動が制限され(コロナかにより)児童が活躍する場面も減っているから。
- 週報や職員会議、学校だよりなど、ほんとうにそう感じる。
- 特に荒れていると感じる子供を見ない。
- 先生方がよくご指導されているからこそ。と感じる。

質問⑰：児童は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた規律ある態度を身に付けている。(5)

- 大体できていると思うから。
- 学校生活では、多くの児童がルールを守ることができていると感じるから。
- 一人一人の児童との会話など、勉強になります。
- ほぼ、どのクラスの子供もクラス単位、学年単位での集団行動で見るとは規律ある態度で臨んでいると感じる。

質問⑱：児童は、体育の授業や外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。(4)

- 感染拡大の世の中のわりにはよく外で遊んでいるような気がするから。
- 日課の休憩時間など、ほんとうにそう思います。
- 児童が自主的に遊びたくなるような取り組みをしていきたい。(体力コーナー、遊びビンゴなど)
- 休み時間は元気に遊んでいる子が多い。体育の授業もクラスのみんなで取り組んでいる姿を良く見かける。

質問⑱:学校は、児童の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。(8)

- 子どもと外で遊んでいる教員が多いから。
- 児童が意欲的に運動できる取り組みを行っているから。
- 体育の時間や放課後の時間が少ない中で、向上を目指すのは、かなり難しく感じる。
- 体育部を中心に、本校の苦手な運動を継続的に日常に取り入れたほうが良い。
- コロナ禍で講じることが難しいから。新体力テストでは毎年柔軟に課題があるが、それに取り組む様子がないと感じる。
- 持久力が低下していると体力測定の結果を評価しておられました。子供たちは、ランニングなどの光景とか、運動に励んでいる様子を、頼もしく感じます。
- 体育の授業での工夫を感じる。低学年では、サッカーゴールにキャラクターを描いた絵を下げてそこに向かってシュートするなど。
- 体育主任中心にできる範囲でよく頑張っていると思います。また、外遊びをしている先生が多く、何か特別なことをするのではなく、そうした活動が向上に一役買っていると思います。

質問⑲:学校は、普段から児童に食育や体の健康に関する指導を行っている。(6)

- 食育が進められているから。
- 食育や体の健康に関する授業を実施することが難しいと感じているから。
- 早く、以前のように、学校歯科医の協力のもと、歯科保健指導ができるようになればと思います。
- 給食の食べ残しが多いのを残念に思う。
- 掲示とか、給食委員の活動が、とっても盛んです。
- お昼の放送で放送委員の子が給食メニューの紹介をするのは良いと思う。コロナ禍で黙食の今、お昼の放送をより良く聞く機会があり、効果的と感じる。

質問⑳:学校は児童のよさを見つけ、児童を理解しようと努めている。(5)

- 児童理解等でそれぞれの良さを見つけているから。
- もう少し他のクラスの児童と関わる機会があったほうが、児童理解につながると感じる。
- 児童の特性をよく見極められていると思う。
- 一人一人の子供を大切にしていると感じております。
- どの先生も良く子供を褒める場面を見かける事が多々ある。

質問㉑:学校は児童の現状をとらえ、新しい時代を生きる児童に必要な力の育成に努めている。(4)

- 実態や時代に合わせているから。
- パソコンとか、そう思います。
- タブレットの導入による指導は思いのほか早期に子供に浸透したと感じた。
- 教え手が新しい学び方にシフトできるようなきっかけ(行事や研修等)を増やしていきたい。

質問⑳:その他・ご意見・改善策等ありましたら、ご記入ください。(6)

- もっと年休を取りやすい環境なってもらえるとありがたいです。昨年度行っていた計画年休や、研修やその他の活動との時間的な折り合いがうまくつけられれば来年度はありがたいなと思いました。ここに2年間は緊急的に対応することもあり心身ともにリフレッシュが必要だと感じています。
- いろいろご指導ください。
- 選択肢は、あてはまるかあてはまらないかのみでしたが、それ以前にわかっていないというかわからない。これがほとんどの質問に対しての率直な感想です。
- 先生方、いつもお疲れ様です。
- 視聴覚室を暗幕等を配備して、子どもたちがタブレットを使いプレゼンができるような、シアタールームにしたい。
- 広沢小学校は、先生方が児童一人一人に寄り添い、ひろい心で決め細やかな指導をされていると思います。児童は、一生懸命学習に取り組み、元気に伸び伸びと学校生活を送れていると思います。